

マイコンキットドットコムの MK-108 超薄型 10 秒ボイスレコーダーボードは、オリジナルの音声メッセージカードが簡単に作れる録音再生ボード(マイク、スピーカー、電池、録音用ボタン・再生用ボタン付き基板。組み立て済み。ハンダ付け必要なし)です。裏面の両面テープで自作のバースデーカードや、お祝いのカードに貼り付ければ、みなさんの声でメッセージを送れます。誕生日に「おめでとう」とのメッセージ、夜遅く帰宅したお父さんさんへ子供さんからの「お帰り」とのメッセージ、写真立てに貼り付ければ彼女の「元気？オツカレ」とのメッセージ、買い物のときに持参すれば「ダイコン、ニンジン、ねぎ・・」と備忘録に、ブックカバーに貼り付ければ音声でしおり「今日は 230 ページまで」、など使い方は無限。録音ボタンを押し、内蔵マイクにメッセージを録音するだけの簡単操作。IC チップを直接ボードにマウントした COB 型(チップ・オン・ボード)の録音・生成用 IC を使用して、音声を約 6.4KHz サンプリングしています。

特長:

- ・ 不揮発性フラッシュメモリ使用
- ・ バックアップ用の電池や電源は不要
- ・ 使い方はきわめて簡単
- ・ 2つの押しボタンスイッチで録音と再生
- ・ 低消費電力(動作中約25mA、待機中約5 μ A)
- ・ 小型マイク付き
- ・ 自動パワーダウン(消費電力約0.5 μ A)
- ・ LR1130ボタン電池(相当品)3個使用(内蔵。テスト用)
- ・ ボードサイズ約40mm×29mm×6mm、スピーカー約40mm、押しボタンスイッチ約6mm×6mm

使い方:

ボタン電池3個が電池ホルダーから、はずれていないか確認してください。

裏面の両面テープをはがして、自作のバースデーカードなどに貼り付ける前に動作確認してください。

ご使用になる前にボタン電池ひとつについての保護シート(次ページ)を引き抜いてください。これで電池が接続され、使用できます。

1. **両面テープ**・・両面テープをはがし、自作のカード、写真立て、など好きな場所に、本体ボードとスピーカーと押しボタンスイッチ(録音と再生)を、貼り付けます(注意！押しボタンスイッチ(録音と再生)には両面テープは付いていませんので台紙を適当に切り取ってお使いください)。
2. **録音**・・録音スイッチ(赤色の線材の付いた押しボタンスイッチ)を録音している間、ずっと押します。マイク(下図)に近づいて(10cmくらい)、話します。録音時間が10秒を超えると、録音は強制的に終了されます。以前に録音されている音声があった場合は、録音ボタンを押すと強制的に消去し、新しい音声を録音します。
3. **再生**・・再生スイッチ(青い線材の付いた押しボタンスイッチ)を押すと、録音された音声の最初から最後まで

で再生します。以前に録音されている音声より、今録音されている音声のほうが短くても、残りの以前の録音された音声は消去されます。(注意！再生時に「シャー」というノイズが若干出ます。「ブチッ」という音が終了時に入ることがあります。)

4. **待機**・・再生や録音終了後に自動的にスタンバイモードになります。
5. **再録音の禁止**・・バースデーカードやお祝いカードなどとして使用した場合、再度録音されたくないとき(消去したくないとき)があります。その場合は、録音スイッチ(赤い線材の付いた押しボタンスイッチ)と小型マイク(ボード上に直接取り付けられている場合あり)を切断し、取り除いてください。切断するときは、電池をはずし、できるだけ本体ボードの近くで、1本ずつ切断してください(絶対に2本同時に切らないでください。切断時に接触して、一時的に録音状態になり、消去する可能性があります)。

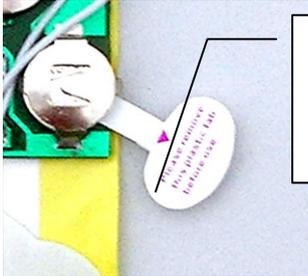
注意事項:

- ・ 出荷検査のため、なんらかの音があらかじめ入っている場合があります、ご容赦下さい。
- ・ マイコンキットドットコムのMK-108 超薄型10秒ボイスレコーダーボードは、ケースには入っていません。写真のとおり回路基板のままですので、配線を切らぬよう、部品を曲げないよう、取り扱いには十分ご注意ください。お子様が電子部品(コンデンサ、ボタン電池、マイク、スピーカーなど)を誤って口に入れないように十分にご注意してください。
- ・ ボタン電池(LR1130)交換時はショートに注意してください(絶縁された棒で押すと簡単に外れます)。上がプラス、底がマイナスになるように挿入してください。
- ・ ボタン電池を保持している板バネが弱くなり接触不良になる場合があります。最悪の場合、動作しません。そのときは電池をはずし、板バネ部分をピンセットなどで少し押ししてください。(次ページの拡大写真参照)
- ・ 湿度が高い場所では、押しボタンスイッチや電池の接触が悪くなる場合があります。
- ・ ボタン電池(LR1130)が、輸送時などに衝撃で外れる場合があります。バースデーカードなどとして、プレゼントするときは外れることのないように粘着テープ、シリコンゴム、などで外れないようにしてください。
- ・ スピーカーには強力な磁石が入っていますので、磁気カード(クレジットカード、銀行のATMカードなど)は絶対に近づけないでください。磁気カードに記録されたデータが消去される場合があります。

不明な点は下記の Email アドレスにお問い合わせください。support@mycomkits.com

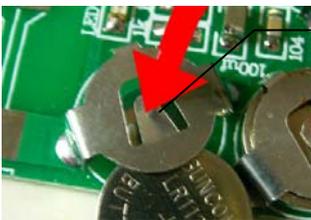
カードへの貼り付け手順の例

ボタン電池部分拡大



保護シート。
 ご使用になる
 前に抜いてく
 ださい。

ボタン電池を保持する板パネ拡大



接触不良やボタン電池がはずれやすい場合はこの板パネを押してください。注意:接触不良の場合は動作しません。



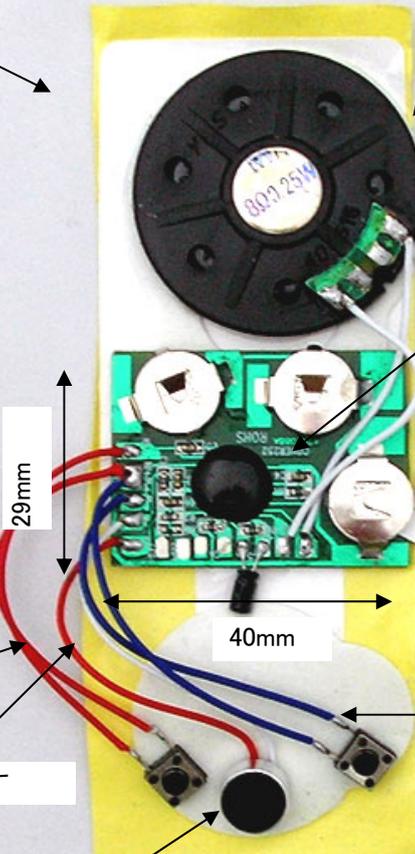
カードへの貼り付け手順の例:

1. 両面テープを適当に切り取り、配置決める
2. ウラのワックスシートをはがす
3. メッセージカードに貼り付け
4. カバーする紙を固定するノリを端に少量付ける
5. 再生スイッチなどが紙で押されないように、フワッとカバー。(注意:二度と録音しない場合は、録音スイッチ、マイクを取り去ってください)

上面図

大型両面テープの台紙

スピーカー



COB(チップ型 IC)

ボタン電池保護シート

注記:
 マイク、スピーカー、基板は両面テープで固定されていますので取り外しや位置変更が簡単です。マイクが左側、中央などに配置されていることがあります。写真の配置は一例です

録音(REC)ボタン(赤色の線)

再生(PLAY)ボタン(青色の線)

ほぼ実物大です

マイク(位置は変わることがあります)

注記:
 マイク、押しボタンスイッチ2個は、写真のように一時的に梱包、輸送の都合で両面テープに貼り付けられています。そのままでも使えますが、切り取って、お使い下さい。右上の写真では、ボードの下を切り取っています。